

平成20年度	施設名(愛称名)	下田市立板戸公民館	番号	32
--------	----------	-----------	----	----

平成20年度

施設評価調書

施設の名称.....板 戸 公 民 館

所管担当課.....教育委員会生涯学習課

平成20年7月

平成20年度	施設名(愛称名)	下田市立板戸公民館	番号	32
--------	----------	-----------	----	----

施設の概要

1 施設名 (愛称名)	下田市立板戸公民館		2 担当課 担当係	生涯学習課 社会教育係					
3 所在地	下田市 532 番地の 1		4 設置年月	昭和 43 年 3 月 31 日					
5 総合計画の 位置付け	人財づくり		自ら学ぶ歴史のまちづくり		生涯教育				
	施策体系		学習環境の整備		学習施設の整備・充実				
	主要事業		公民館活動推進事業		地域に密着した学習プログラムの実施				
6 設置目的	社会教育法第 20 条の目的を達成するため 第 20 条 公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もつて住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。								
7 設置根拠	下田市立公民館設置管理条例								
8 施設の概要	施設の概要		敷地面積 727.1 m ²		構造 木造平家建				
			建物面積 114.0 m ²						
			集会室・談話室(和室)1・談話室(和室)2・湯沸室・便所						
	実施事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・公民館講座の実施 ・その他「社会教育法第 22 条(公民館の事業)」に基づくもの 						
	料金体系		料金区分	公民館使用料					
			主な料金	午前(9:00~12:00)		昼間(13:00~17:00)		夜間(18:00~21:00)	
				使用単位	普通	入場料	普通	入場料	普通
			使用料	徴収	使用料	徴収	使用料	徴収	
			1回	1,000円	2,000円	1,000円	2,000円	2,000円	4,000円
			減免内容	(使用料の免除) 第 10 条 市長は、特に必要があると認めるときは、別表に定める使用料を減免することができる。 (1) 市の主催で使用するとき、又は国の機関若しくは地方公共団体が市と共催で使用するとき。(全額) (2) 公共的団体の主催で法第 20 条の目的に基づき住民のために使用するとき、又は市内の保育所、幼稚園若しくは小・中学校の主催で、園児、児童、若しくは生徒の教育のために使用するとき。(全額) (3) 公立小・中学校(市内の公立小・中学校を除く。)若しくは公立高等学校の主催で、その目的が教育のために使用するとき、又は委員会が認めた社会教育関係団体の主催で、その目的が当該団体の設立目的のために使用するとき。(5割減額) (4) 国の機関又は地方公共団体の主催で、その目的が公共のために使用するとき。(3割減額) 全各号に掲げるもののほか、市長が特に必要があると認めるとき。(3割減額)					
		利用料金制度	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>						
施設運営方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接運営							
		指定管理者制度	指定管理者						
		一部委託	委託内容						
直接従事職員		下田市職員数 館長 1名							
9 市内の類似施設	下田市所有	他 11 公民館(社会教育法の規定による施設)							
	民間所有	地区集会所等(自治会管理の地域コミュニティ施設)							

平成20年度	施設名(愛称名)	下田市立板戸公民館	番号	32
--------	----------	-----------	----	----

10 取得費等の情報 (単位:円)	取得費及び財源内訳		平成19年度末残高			(備考) 減価償却の方法 ・定額法 ・残存価格1円 ・新設翌年度から償却 ・耐用年数 24年
	土地取得費		土地残高			
	建物取得費	不詳	建物減価償却後残高		1	
	財源内訳					
	国・県支出金					
	市債		市債残高		0	
	一般財源					
	寄附金等					
	物品(*万円以上)		物品減価償却後残高			
11 年間経費等推移 (単位:円)	区 分		H17年度決算 (12公民館)	H18年度決算 (板戸公民館)	H19年度決算 板戸公民館	H20年度予算 (12公民館)
	収入	使用料	1,377,600	1,000	4,000	1,500,000
	収入合計		1,377,600	1,000	4,000	1,500,000
	支出	1節 報酬	1,652,000	108,000	112,999	1,692,000
		7節 賃金	1,903,200	0	0	1,672,000
		8節 報償費	403,000	15,000	15,000	425,000
		9節 旅費	80,534	1,110	3,972	102,000
		11節 需用費	9,271,197	58,623	65,071	5,811,000
		消耗品費	354,895	240	0	208,000
		印刷製本費	27,000	0	0	72,000
		光熱水費	4,668,116	55,503	55,815	4,932,000
		下水道費	89,079	0	0	132,000
		燃料費	35,724	2,880	5,256	34,000
		修繕料	4,096,383	0	4,000	433,000
		12節 役務費	1,417,258	62,147	61,891	1,133,000
		13節 委託料	562,468	6,877	6,866	779,000
		14節 使用料	197,819	0	0	202,000
	19節 負担金	179,550	13,650	13,608	228,000	
	支出合計		15,667,026	265,407	279,407	12,044,000
	減価償却費		10,388,163	0	0	10,388,163
市債利子		2,750,279	0	0	2,037,703	
事務に係る市職人件費		4,200,492	295,461	158,259	1,896,240	
下田市負担年間総経費		31,628,260	559,868	433,666	24,866,106	
備考	人件費は、1公民館を1/20人工として、職員人件費平均から算出したもの 事務に係る市職人件費=(職員人件費÷職員数)×1/20人工×公民館数					
12 施設利用状況等の推移	利用状況	利用年度	H17年度決算	H18年度決算	H19年度決算	H20年度
		利用者数	1,816人	1,439人	1,131人	人
		参考:利用単位当たり市負担額	430.03円	389.07円	383.43円	円
	休館日	祝日、12/28から1/3まで				
	使用時間	午前9時から午後9時まで				
13 利用者満足度調査	実施の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		調査結果		
	直近の実施時期					
	調査手法					
	調査数					

平成20年度	施設名(愛称名)	下田市立板戸公民館	番号	32
--------	----------	-----------	----	----

業績評価

1 目標達成度

目標達成度	区分	単位	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
	利用者数の目標値	人	2,100人	2,100人	2,100人	
	〃の実績	人	1,816人	1,439人	1,131人	
	目標達成度	%	86.47	68.52	53.85%	
選択した指標	成果指標					
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の代替指標					
指標選択の理由	目標達成度を選定する指標として同指標を選択した理由					
	施設設置目的の「住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与」を計ることが困難であるため、施設利用者数を使用する。					
指標設定の考え方	区分	指標名	指標の考え方			
	成果指標					
	代替指標	施設利用者数				

(参考)

活動指標(施設の目的を達成するための具体的な手段におけるそれぞれの達成度合を把握できる指標)

活動指標			区分	単位	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
活動指標	目標指標	公民館講座受講者数(実数) 定期開催事業の参加者実数	目標値	人	13人	13人	13人	
			実績値	人	15人	13人	13人	
			達成度	%	115.38%	100%	100%	
	目標指標の考え方	公民館講座は利用率向上を目的としたものではなく、必ずしも達成度を検証する数値になるとも限らないが、施設設置目的に沿った主催事業であるため活動指標として設定する。						
活動指標	目標指標	社会教育関係団体利用者数 施設利用者数のうち社会教育関係団体の利用人数	目標値	人	1,300人	1,300人	1,300人	
			実績値	人	1,257人	900人	630人	
			達成度	%	96.69%	69.23%	48.46%	
	目標指標の考え方	社会教育・生涯学習行政を推進していく上で、社会教育関係団体の自主的な活動は重要視される。活動拠点は集合しやすさから市中心部に偏りがちではあるが、公民館が社会教育施設として活用されている一つの指標として設定する。						
活動指標	目標指標		目標値					
			実績値					
			達成度					
	目標指標の考え方							

平成20年度

施設名(愛称名) 下田市立板戸公民館

番号 32

2 効率性

効率性	区分	説明	単位	H17年度 12公民館 平均値	H18年度	H19年度	H20年度
	施設の総利用者数等		人	4,721	1,439	1,131	
	年間経費	施設の事業費・運営費および人件費の合計額	円	1,655,626	560,868	437,666	
	利用単位当たり経費	÷	円/人	350.69	389.76	386.97	
総利用者数等の考え方 施設の総利用者数等について用いた指標について記載してください。	総利用者数を年間経費で割り返して、効率性を計る。		備考 コスト評価項目に関して留意事項、補足項目等があれば記載してください。				

その他の指標			区分	単位	H17年度 12公民館 平均値	H18年度	H19年度	H20年度
目標指数	目標指数	光熱水費	目標値	円				
			実績値	円	389,009	55,503	55,815	
			達成度	%				
目標指数の考え方	電気、ガス、水道の料金を節約することで効率性を計る。 目標値算定：H17の料金の90%とする。							
目標指数	目標指数	消耗品費	目標値	円				
			実績値	円	29,574	240	0	
			達成度	%				
目標指数の考え方	消耗品費を節約することで効率性を計る。 目標値算定：H17の料金の90%とする。							
目標指数	目標指数	委託料	目標値	円				
			実績値	円	46,872	6,877	6,866	
			達成度	%				
目標指数の考え方	委託料を節約することで効率性を計る。 目標値算定：H17の料金の90%とする。							

受益者負担の適正性	区分	説明	単位	H17年度 12公民館	H18年度	H19年度
	有料部分の年間経費	使用料等を徴収する部分の年間経費	円	19,867,518	560,868	437,666
	受益者負担額	施設の本来の目的による使用料等の年間総額	円	1,377,600	1,000	4,000
	受益者負担比率	÷	%	6.93	0.17	0.91
	補正受益者負担額	減免者より正規の料金を徴収したと仮定した場合の受益者負担額	円	8,023,600	215,000	194,000
	補正受益者負担比率	÷	%	40.38	38.33	44.32

平成20年度	施設名(愛称名)	下田市立板戸公民館	番号	32
--------	----------	-----------	----	----

施設の現状分析

判断視点項目		施設の状況	
施設方向性の判断視点	施設の設置目的が時代のニーズに適合しているか	設置目的に沿った利用がされているか	されている。
		住民の福祉の向上に対し、どのように寄与しているか	地域住民の希望する公民館講座や地域の会合、地区PTAの会合などに活用されている。
		将来に亘り必要な施設として住民の期待を高めていけるか	統廃合を進めていく。
	施設が十分に利用されているか	施設の修繕計画はどうなっているのか	必要に応じた修繕を実施。
		施設の運営方法と利用者の情報交換はどのようにされてきたのか	公民館運営審議会や公民館長会議を通じて情報を得ている。
	施設の管理運営主体が施設の利用目的から判断して適切であるか	同様の施設の設置がされているなど競合していないか	競合していない。
		民間においても十分可能な施設なのか	公民館機能としては不可能。
	使用料、利用者数、支出額、市負担額が適正であるか	使用料の算定に当たり実費経費と住民福祉の向上の比較はどうか	もともと社会教育施設であり実費経費との比較はできない。
		同種施設との比較、近隣施設との比較はどうか	地域に根ざした利用をされている施設であるため一概に比較はできない。
		計画上の利用者数と実際の利用者数の違いがどうなっているのか	
		施設の耐用年数は何年有るのか	不明
		施設の今後の維持経費の算定はどうか	
行政規模からの判断視点	施設の管理運営に係る経費が財政規模からして適正か	施設の管理運営の経費支出が下田市の行政経営からして妥当なのか	社会教育法に基づき市が管理する施設。
		現行の管理運営を今後も継続していくことが適切か	今後統廃合の中で検討。
	地域的な施設配置のバランスは適正か	旧町村単位における施設配置の見直しはされているのか	検討中。
	施設の統廃合が可能な施設はないのか	施設統合が出来る施設の組み合わせは有るのか	ない。
		老朽化と施設維持の比較から改築廃止をどう考えていくのか	統廃合を検討。
		地域、民間に譲渡できないのか	今後の課題。
		施設の目的の範囲を拡大することにより統廃合可能にならないか	難しい。
その他			

平成20年度	施設名(愛称名)	下田市立板戸公民館	番号	32
--------	----------	-----------	----	----

見直しの方策

評価種別		改善・見直しの方策案
市民と行政の役割分担評価	行政関与の妥当性	社会教育法に基づく公民館。
	受益者負担の妥当性	現在改善中であるが、コストに見合った使用料設定は難しい。
	実施主体の妥当性	単なる会議室の貸し出しについては他施設でも可能であるが、公民館事業は行政の役割。
	廃止・休止・縮小・外部委託化・民営化などの方向性	統廃合の検討。
業績評価	利用者数等の目標数値及び利用者向上策など	講座や事業の充実が必要。
	執行方法の見直しなど効率化のための目標及び方策	ボランティアで活動してくれる地域の指導者等を発掘し公民館活動に活かせないか検討中。
	受益者負担の現状及び適正化のための方策など	貸し出し区分の見直しを図る。
査等 アンケート	市民アンケート調査等の結果	未実施。
サービス面等	サービスの迅速性や利便性など	
	利用者満足度の観点からのサービス提供の質の改善方法	

平成19年度事業内容及び見直し事項

事業内容	公民館講座(ゴキブリ団子作り)の開催
見直し事項	指定管理者制度導入についての課内協議 ボランティア講師の発掘や講座受講者の同好会化推進

平成20年度

施設名(愛称名) 下田市立板戸公民館

番号 32

施設懸案事項

No.	懸案事項	改善経費	備考
1	耐震診断、耐震補強未実施	未調査	
2	畳取替	未調査	
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

今後の方向性

今後の方向性	充実 効率化等による見直し 現状のまま継続等 縮小等による見直し <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合を進める	(具体的な内容) 統廃合の検討については、近隣の「老人憩いの家」の管理運営と歩調を合わせた計画策定を図りたい。
--------	--	--